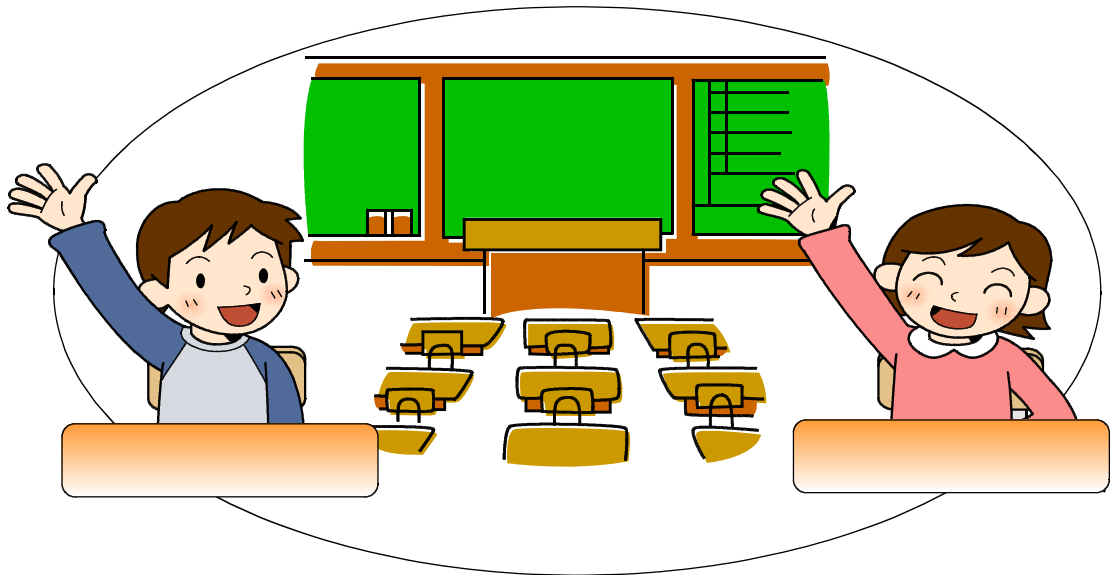


平成29年度

山口県公立学校教職員公募型人事異動制度

公募校一覧(県立学校)

あなたの熱意と力が必要です。



公募校への出願を希望する先生は、所属校の校長まで申し出てください。

教職員課のホームページにも掲載しています

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/koubojinji/h29koubo.html>

平成28年12月

山口県教育委員会

山口県公立学校教職員公募型人事異動制度について

学校の教育目標等に基づいて、求める教職員を公募し配置する公募型人事異動制度は、校長がリーダーシップを発揮し、特色ある学校づくりや学校運営の活性化を進めるとともに、より一層、教員の資質能力や意欲の向上を図ることができるなどの効果が期待されます。

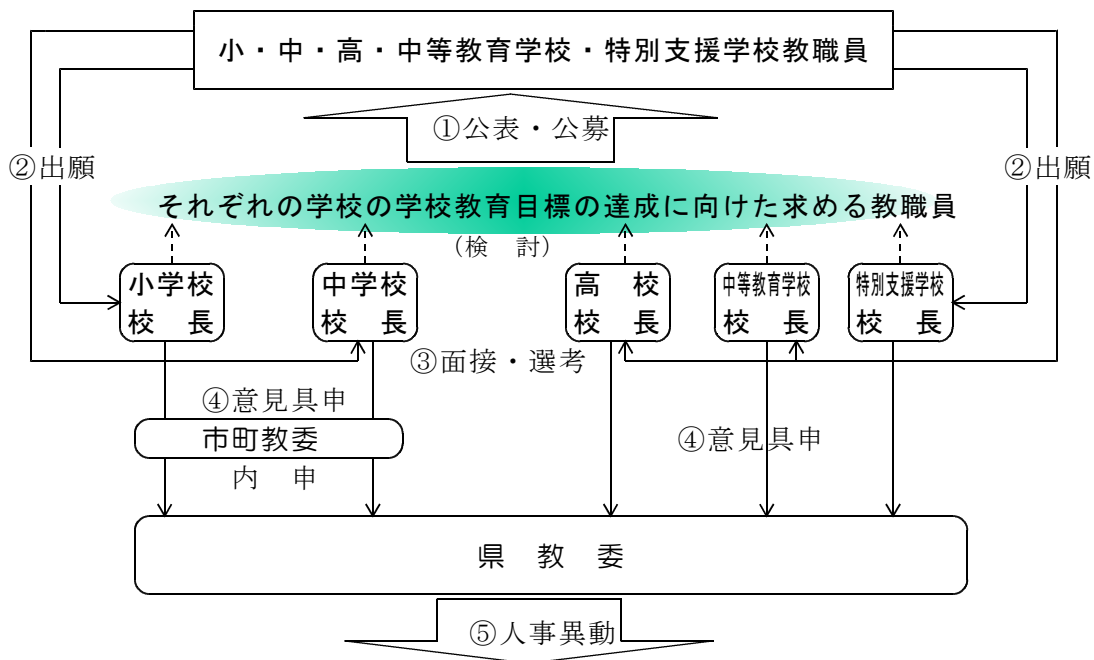
このため、県教育委員会では、平成21年度から通常の人事異動制度に加えて公募型人事異動制度を実施しています。

公募型人事異動制度の概要

1 目的

- (1) 校長が、学校運営方針や教育目標を明らかにし、必要とする人材を公募することにより、学校教育目標の達成や活性化を図るとともに自主的・自律的な学校運営に資する。
- (2) 積極的に挑戦しようとする教職員の意欲を生かし、その能力の一層の発揮を促すことにより、個々の資質能力の向上を図るとともに、中核となる人材の育成に資する。
- (3) 従来的人事異動に加えて実施することにより、一層の人事異動の活性化を図る。

2 仕組み



- ① あらかじめ県教委に申請し、承認された公募校の校長は、それぞれの「学校の教育目標の達成や課題解決に向けた求める教職員」を公表し、公募する。
- ② 公募校に異動を希望する教職員が出願する。
- ③ 公募校の校長は、直接面接するなどして出願教職員を選考する。
- ④ 公募校の校長は、出願教職員について教育委員会に意見を具申する。
- ⑤ 教育委員会は、校長の意見具申を尊重し、人事異動を行う。

平成29年度山口県公立学校教職員公募型人事異動制度の手続

公募校の決定・発表

公募希望校
申請

- 公募を希望する校長は、申請書を県教委に提出（※1）〔締切11月16日〕

申請書の内容 申請理由、学校の特色、学校が求める教職員、公募人数等、論作文題
公募教科・人数等 特に制限を設けない

※1 市町立学校は、市町教委を経由して教職員課人事企画班へ提出
県立学校は、直接、教職員課人事企画班へ提出

県教委
審査
決定
公表

- 県教委は、審査会を開催し、当該年度の公募校を決定
- 県教委は、公募校の募集要項を作成し全校に通知及びHP等で周知

出願

教職員
出願

- 出願の相談があった場合、所属校の校長は公募校の校長（市町立学校にあっては所管するそれぞれの市町教委を経由）に受入状況等を事前照会
- 出願する教職員は、「異動についての調査票」の提出に併せて、「出願申請書」、「論作文」を所属校の校長に提出
- 所属校の校長は、「出願申請書」、「論作文」、「異動についての調査票の写し」、「副申書」を公募校の校長（市町立学校にあっては所管するそれぞれの市町教委を経由）に提出〔締切 出願先が市町立学校の場合：1月27日、出願先が県立学校の場合：2月10日〕

出願要件 ◇ 年度末の時点で現任校に3年以上継続勤務する教職員（教諭、養護教諭（※2））
※2 教諭・養護教諭として異動する事務局職員等を含む
◇ 出願する校種・教科に必要な教育職員免許状を有すること（校種等を越えた出願可）
◇ 1人1校に限る

- 公募校の校長は出願状況を提出締切日以降、速やかに県教委に報告（「出願状況報告書」）（※3）
※3 市町立学校は、市町教委を経由して義務教育課地域支援・人事班へ提出
県立学校は、直接、教職員課人事班へ提出

選考

公募校の校長
書類選考
面接
最終選考
具申

- 公募校の校長は、提出された書類を資料として書類選考し、結果を所属校の校長（市町立学校にあっては所管するそれぞれの市町教委を経由）を通して出願教職員に連絡（書類選考により選考された者には面接する日時を連絡）
- 面接は、公募校の校長が実施
- 選考は、出願教職員の意欲、能力、適性、実績を判断し、公正に実施
- 公募校の校長は、「意見具申書」により県教委（市町立学校にあっては所管するそれぞれの市町教委を経由）に具申〔提出期間 市町立学校：1月30日から2月10日まで、県立学校：2月13日から2月21日まで〕（※3）
- 公募校の校長は、意見具申提出後、選考結果通知書により所属校の校長（市町立学校にあっては所管するそれぞれの市町教委を経由）に選考結果を連絡
- 所属校の校長は出願教職員に最終選考結果を連絡

具申内容 配置候補者の有無及び希望順位

異動

県教委・市町教委
異動

- 県教委及び市町教委は、公募校の校長の具申を十分考慮して定期人事異動を行う。
- 最終的な結果の通知は、異動（配置）をもって代える。

平成29年度山口県公立学校教職員公募型人事異動制度

公募校一覧（県立学校）

No.	学 校 名	公募分野	人 数
1	県立周防大島高等学校	特色	若干名
2	県立岩国高等学校	学習・進路	2
3	県立徳山高等学校（全日制）	学習、部活、特色	若干名
4	県立防府高等学校	学習、部活のいずれか	若干名
5	県立山口高等学校（全日制）	学習・部活・特色	若干名
6	県立山口高等学校徳佐分校	学習・生徒・部活	1
7	県立宇部高等学校	学習、特色、部活	若干名
8	県立下関西高等学校（全日制）	学習・進路	若干名
9	県立下関中等教育学校	指定なし	若干名
10	県立山口南総合支援学校	特支	若干名
11	県立下関南総合支援学校	特支	若干名

○公募分野略号

学習：学習指導
生徒：生徒指導
進路：進路指導
特支：特別支援教育
部活：部活動
特色：特色ある教育

校 種	学 校 名	校 長 名	所 在 地
高等学校	県立周防大島高等学校 (安下庄校舎)	村上 哲朗	大島郡周防大島町 西安下庄489番地
学校の特徴	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> ■生徒数：243人 ■学級数：12学級 ■電話番号：0820-77-1048 (安下庄校舎) ■Webページアドレス：http://www.suo-oshima-h.ysn21.jp/ </p> </div> <p>周防大島高校は、挑戦し続ける学校である。</p> <p>これまで、島唯一の高校としての地域の期待を背景に、中学校との交流授業をはじめとする連携型中高一貫教育校としての取組や、ビジネス・福祉コースを有する全国唯一の「地域創生科」の創設、これにあわせた普通科特別進学コース・環境コースの設置、最先端のICT機器を活用した授業改善、さらには、県内公立高校初のユネスコスクールの取組など、特色ある教育を推進し、生徒も全国から募集しているところである。</p> <p>こうした中、これらの取組が評価され、昨年度、キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰及び第6回ESD大賞ユネスコスクール最優秀賞を受賞するに至った。</p> <p>また、地域との連携をより一層深め、地域に貢献する存在感ある学校づくりを推進しており、今年度、県立高校初めてのコミュニティ・スクールの仕組みを導入した。</p> <p>【本校の挑戦】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「島・学・人プロジェクト～島がすき、学校がすき、そこで生きてる人がすき」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域のイベント「安下庄海の市」でのインターンシップ、「子ども夢広場」運営、商品開発コンテスト参加などの地域活性化・貢献活動 ○ 学校設定教科「地域創生」における地域の現状・課題を学ぶ講演会や記念館等へのフィールドワークの実施等 “届けよう服のチカラ”プロジェクトの実施：不用子ども服を難民へ届ける活動 やまぐちのキレイな海岸フォトコンテストへの応募：ふるさとの自然のよさを実感 不可能を可能にする学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ○ 周防大島塾：自習室の設置、進研ゼミ高校講座の実施、自学自習期間の設定 ○ 「マナトレ」：SHRを活用した振り返り学習による基礎学力の定着 最先端のICT機器の活用（タブレット端末55台、全HR教室に電子黒板設置） <p>【本年度本校で重点をおいて取り組んでいる目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ICT機器を活用し、主体的に学習に取り組む態度を育成する 規範意識の向上と、健やかな心と体を育成する 中高一貫教育を主軸に地域と連携した教育を推進する 学校の組織力を向上し教育機能の活性化を図る 		
学校が求める教職員	公募分野：特色ある教育		公募人数等
	<p>学校の活性化のため、自らのアイデアを積極的に提案・実践しようという意欲と次のいずれかに該当する志を有する教員を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくりへの貢献を通じた学習活動をしたい教員 ・ 県内屈指のICT環境を積極的に活用した学習指導をしたい教員 ・ 高校生の学習指導、部活動指導をしたい中学校の教員 ・ 中学生の指導をすることで指導力の幅を広げたいと考えている教員 		<p>若干名 教科指定なし (中学校教諭 免許状を所有 していること)</p>
論作文題 (A4判1枚程度)	<p>あなたのこれまでの教職経験をもとに、「学校が求める教職員」を踏まえて、周防大島高等学校で実践したいテーマ（教育活動）について、論述してください。</p>		

校 種	学 校 名	校 長 名	所 在 地
高等学校	県立岩国高等学校	奈迫 忠夫	岩国市川西4-6-1
学校の特徴	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> ■生徒数：834人 ■学級数：21学級 ■電話番号：0827-43-1141 ■Webページアドレス：http://www.iwakuni-h.ysn21.jp </p> </div> <p>○ 本校は、明治13年の岩国中学創立の年から起算して137年目を迎え、3万7千人を超える卒業生を輩出している歴史と伝統のある学校である。また、普通科と理数科を設置しており、自分の興味、関心等に応じた科目を選択・学習できる進学に対応した単位制高等学校である。</p> <p>○ 生徒は、真面目で向上心が強く、文武両道等の校風を理解して充実した学校生活を送っており、教職員は、学力の向上、進路意識の高揚、心身の健全な成長に資する取組を通じて、「夢の実現に向けて努力を惜しまない生徒」「明日の社会を担うリーダーとなる生徒」「心身ともに健康で高い倫理観をもつ生徒」の育成に努めているところである。</p> <p>○ 生徒一人ひとりの学力向上や進路実現に向けて、週3日（火・水・金）の7限授業、英語・数学の少人数指導、面談週間の導入等によるきめ細かい個別指導、早朝や夏季・秋季・春季の進学講座等を実施するとともに、理数科においては、他校との合同合宿、実力アップセミナー、課題研究にも取り組んでいる。</p> <p>○ 部活動は、22の運動部と18の文化部があり、平成28年度は、弓道部、ソフトテニス部、ハンドボール部、放送部、プレクトラムアンサンブル部、美術部、科学部が全国大会に出場するなど、活気にあふれている。</p> <p>○ さらには、PTAと協働して文化祭やスポーツ大会等の学校行事を行うなど、教職員とPTAが連携して「夢かなう岩高」を推進している。</p> <p>【本年度本校で重点をおいて取り組んでいる目標】</p> <p>【教育方針】 岩中・岩女の伝統ある「文武両道・質実剛健・高雅な気品」の校風を基礎として、時代が要求する全人格を培い、明朗堅実・自主性・積極性に富む活気ある学園の形成に努める。</p> <p>【H28重点目標】</p> <p>○ 授業力と学力の向上（集中力の高まる授業・意欲のわく授業の展開と進学実績の向上）</p> <p>○ 自主性を生む生徒指導の充実（挨拶・時間厳守や服装・生活態度を自ら考え改善できる生徒の育成）</p> <p>○ 組織力の強化（全校協働体制の確立と業務分担の集中化の改善、風通しのよい職場環境づくりの推進、本分校間の連携）</p> <p>【チャレンジ目標】</p> <p>○ 身なりを正そう ○ 3点固定（起床・就寝・勉強の時間を決めて毎日の生活を送る。）</p>		
学校が求める教職員	公募分野： 学習指導・進路指導		公募人数等
本校の重点目標の達成に向けて教員間で協働して業務にあたり、生徒の力を伸ばすために意欲的に取り組み、特に、教科指導及び進路指導の面で力量を発揮できる教員。			数学 1名 理科（生物）1名
論作文題 (A4判1枚程度)	次の①及び②について、できるだけ具体的に述べてください。 ① 現任校において重点的に取り組んできたこと。 ② 本校において取り組んでみたいこと。		

校 種	学 校 名	校 長 名	所 在 地
高等学校	県立徳山高等学校 (全日制・本校)	倉田 伸治	周南市鐘楼町2-50
学校の特徴	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■生徒数：934人（普通科・理数科） ■学級数：26クラス</p> <p>■電話番号：0834-21-0099</p> <p>■Webページアドレス：http://www.tokuyama-h.yasn21.jp</p> </div>		
<p>本校は、創立136年を迎える良き伝統を継承しつつ、教職員・生徒相互の信頼を高めながら、確かな学力を身につけた心身ともにたくましい生徒の育成をめざしている。</p> <p>教職員の熱心な指導と生徒の切磋琢磨により、進学校として着実に実績をのこしているが、文武両道の校風のもと、学習活動にのみ偏ることなく、大多数の生徒が部活動等に積極的に励むとともに、運動会や文化祭等の伝統ある学校行事にも熱心に取り組むなど、地域の期待と信頼に応えていることは本校の大きな特色となっている。</p> <p>また、平成27年度から平成31年度までの5年間、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の第2期指定を受けており、この事業を活用して、理数科のみならず学校全体の活性化を図るとともに、未来を担う人材の育成をめざして取り組んでいる。</p> <p>さらに、平成27年度から進学型単位制を導入し、生徒一人ひとりの一層の進路実現に向けた取組を展開しているところである。</p> <p>【本年度本校で重点をおいて取り組んでいる目標】</p> <p>平成28年度については、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知徳体の調和のとれた教育活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 主体的な学びを伸長する学習指導・進路指導の推進 (2) 望ましい人間関係づくりに向けた体験活動の充実 (3) 文武両道の継承と自主自立の精神の育成 			
学校が求める教職員	公募分野：学習指導、部活動、特色ある教育	公募人数等	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の学校教育目標に沿い、進学型単位制の導入を有効に活用し、全教職員と協働して教科指導、生徒指導、部活動指導（特に運動部）等に取り組む意欲や情熱を有する教員 ○ 第2期SSH事業の推進に興味・関心があり、意欲や情熱をもって積極的に取り組む教員 		<p>若干名</p> <p>国語、数学、地理歴史・公民、理科、外国語(英語)</p>	
<p>論作文題 (A4判1枚程度)</p>	<p>あなたのこれまでの教員としての実績をもとに、本校ではどのようなことに取り組みたいと考えますか。次の①～④の全てについて具体的に記載してください。</p> <p>①教科指導について ②生徒指導について</p> <p>③部活動指導について ④SSH事業推進について</p> <p>また、この他に取り組みたいことがある場合には、⑤その他 として、①～④に続けて記載してください。</p>		

校 種	学 校 名	校 長 名	所 在 地
高等学校	県立防府高等学校	宮地 政利	防府市岡村町 2 - 1
学校の特色	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> ■生徒数：918人 ■学級数：23学級（含専攻科） </p> <p> ■電話番号：0835-22-0136 </p> <p> ■Webページアドレス：http://www.hofu-h.ysn21.jp/ </p> </div>		
<p>本校は、文武両道を掲げ、生徒には学習活動とともに、部活動、学校行事、生徒会活動などにも挑戦することを期待している。結果、現役国公立大学合格者数100人以上や看護師国家試験合格率100%などの実績とともに、3年連続県高校総体・教育長杯入賞など文武両道を実現している。生徒には、文武両道を通して、「豊かな人間性」を身に付けるとともに、「新たな自分の可能性」を発見してほしいと願っている。</p> <p>今年度から学校行事の更なる充実に向け、3月のスポーツクラスマッチに加え、新たに7月に合唱クラスマッチを開催した。また、キャリア教育として毎年著名な卒業生による講演会を開催し、生徒の自己の在り方生き方を考える機会としている。卒業生には、文芸やマスメディア（TV、新聞、IT等）の分野で活躍されている方が多いことも特色である。</p> <p>平成28年度からは、進学を重視した単位制を導入し、生徒一人ひとりの進路実現に向けた取組の一層の充実を図っている。</p> <p>【本年度本校で重点をおいて取り組んでいる目標】</p> <p>「生徒の『主体性』を引き出す教育活動の展開」</p> <p>(1) 学ぶ意欲を引き出す学習指導</p> <p>(2) 自ら判断し、行動できる態度を引き出す生徒指導</p>			
学校が求める教職員	公募分野：学習指導、部活動のいずれか		公募人数等
<p>本校で重点をおいて取り組んでいる目標「生徒の『主体性』を引き出す教育活動の展開」を理解し、次のいずれかに該当する教員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情熱と意欲をもって生徒を指導できる教員 ・ 進取の精神に富み、チャレンジ精神旺盛な教員 ・ 生徒一人ひとりの夢の実現のために、努力できる教員 			<p>若干名 国語、数学、 地理歴史、 理科、 外国語(英語)、 情報</p>
<p>論作文題 (A4判1枚程度)</p>	<p>生徒が主体的・自律的に学習に取り組むようにするために、あなたはどのような手立てを考えますか。または、どのような指導をしますか。</p>		

校 種	学 校 名	校 長 名	所 在 地
高等学校	県立山口高等学校	高原 透	山口市糸米 1丁目9番1号
学校の特徴	<p> ■生徒数：全956人（普通科・理数科） ■学級数：25学級 ■電話番号：083-922-8512 ■Webページアドレス：http:// www.yamaguchi-h.ysn21.jp/ </p> <p> 本校の歴史は、文化12年(1815年)に創設された私塾山口講堂が、山口明倫館の時期を経た後、明治3年(1870年)に改称されて山口中学となったことに始まる。その後、幾多の変遷を経て山口高等学校となる。昭和44年(1969年)に理数科が設置され、現在は、普通科、理数科の2学科を有する大規模全日制課程の高校として、毎年多くの卒業生を送り出している。卒業生は4万人を超え、社会のリーダーとして様々な分野で幅広く活躍している。今年で創立146周年を迎える。 </p> <p> 校訓「至誠剛健」は、「誠実さと真心を大切にして、心身の強さ、健やかさをもって、何事にも積極的に取り組み、力強く生き抜く力を身に付ける。」という意味が込められており、すべての生徒に日々の生活の中でめざしてほしいと願っている。 </p> <p> この校訓のもと、「自由な気風」、「進取の気風」、「文武両道の気風」の精神にのっとり、教職員が一丸となって、知・徳・体のバランスのとれた心身ともに健全な生徒の育成を図っている。 </p> <p>【本年度本校で重点をおいて取り組んでいる目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ めざす学校像 『生き生きと活力ある学校』 ○ 育てたい生徒像 『知・徳・体のバランスのとれた、次代を切り拓く社会のリーダーたる人材』 ○ 重点的に取り組む目標 <ol style="list-style-type: none"> 1 主体的な学びを培い質の高い学力の定着をめざす学習指導の推進 2 自律的な生活態度の形成を支援する開発的な生徒指導の推進 3 「一つ上の目標」に挑む進路指導の推進 4 特別活動・部活動等とおした豊かな心や社会性を育む取組の推進 5 個に応じた指導の充実と特色ある教育活動の推進 6 緊密な連携・協働の推進による組織力の強化 		
学校が求める教職員	公募分野： 学習指導・部活動・特色ある教育	公募人数等	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の掲げる教育目標のもと、他の教職員と協働し、高い教科指導力を発揮することができる教員 ○ 本校の部活動の更なる充実に向け、意欲と情熱をもって取り組むことができる教員 ○ 本校の魅力及び特色づくりに、持ち味を生かし貢献することができる教員 		若干名(全日制) 国語、地理歴史・公民、数学、理科、 外国語(英語)	
論作文題 (A4判1枚)	あなたのこれまでの教員としての経験や実績等を挙げながら、あなたの持つ「よさ」や「持ち味」等を、本校での教育実践にどのように生かしていきたいかを具体的に述べてください。		

校 種	学 校 名	校 長 名	所 在 地
高等学校	県立宇部高等学校	岩本 龍治	宇部市寺の前町 3番1号
学校の特徴	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> ■生徒数：724人 ■学級数：20学級 </p> <p> ■電話番号：0836-31-1055 </p> <p> ■Webページアドレス：http://www.ube-h.vsn21.jp </p> </div>		
<p>本校は、「文武両道の学びの中で、『知・徳・体』を磨き、自信と誇りを持って社会に貢献できる人材の育成を図る」を学校教育目標に掲げ、「豊かな人間性の育成と個性の伸長」「基礎学力の充実と自学意欲の涵養」「健康な心身と旺盛な実践力の育成」を教育方針とし、自由闊達な校風のもと、落ち着いた環境の中で、生徒たちは、学業はもとより、学校行事やスポーツ、文化活動、研究活動などに全力で取り組んでいる。こうした生徒たちの努力や頑張りが、希望進路の実現に繋がるよう、教職員は、授業を中心に据え、課外や個別指導などを通じて熱心に支援し、着実に進路実績を向上させている。</p> <p>また、急速に進行する教育改革の動きに迅速かつ確実に対応するため、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、スーパーグローバルハイスクール（SGH）事業と単位制を活用しながら、これからの時代に求められる資質能力等の育成にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>こうしたSSHやSGHの取組をもとに、来年度からスタートする「探究科」では、これまで蓄積してきたノウハウを最大限活用した新たな教育活動を展開するとともに、進学に重点を置く拠点校として、一人ひとりが未来を見つめ、将来を見据えた第一希望の夢の実現ができるよう、これまでの文武両道の学びを大切にしながら、新たな魅力の創造にチャレンジしている。</p> <p>【本年度本校で重点をおいて取り組んでいる目標】</p> <p>以下の5点を平成28年度の重点目標として、積極的な教育活動を展開している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 第1希望の夢を実現させる進路指導・キャリア教育の推進 ② 自ら考え、表現し、実践する力の育成 ③ 県立高校将来構想・再編整備計画による特色ある学校づくりの推進 ④ SSH、SGHの取組の充実・進化と両事業の効果的な連携による相乗効果の創出 ⑤ 通学区域全県化に対応した具体的な展開と積極的な情報発信 			
学校が求める教職員	公募分野： 学習指導、特色ある教育、部活動		公募人数等
<ul style="list-style-type: none"> ○ 文武両道の学びを尊重し、情熱と意欲をもって、チームとして教育活動を実践できる教員（共通） ○ 進学校における「アクティブ・ラーニングに視点をおく授業」、「探究的な学習」に積極的に取り組む教員 ○ 探究科、SSH、SGH等の先導的な取組に積極的に関わり、本校の新たな価値、魅力の創造に貢献できる教員 			<p>若干名</p> <p>国語、数学、地理歴史・公民、理科、外国語(英語)</p>
<p>論作文題</p> <p>〔 A4判 1枚～2枚 〕</p>	<p>次の①から④の各項について、これまでの経験や実績をもとに、あなたがどのように取り組んでみたいか、具体的に述べてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 進学校における「アクティブ・ラーニングに視点をおく授業」 ② 進学校における「探究的な学習」 ③ 探究科について ④ SSHまたはSGHについて 		

校 種	学 校 名	校 長 名	所 在 地
高等学校	県立下関西高等学校(全)	首藤 裕司	下関市後田町四丁目 10番1号
学校の特徴	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> ■生徒数：706人 ■学級数：18学級 ■電話番号：083-222-0892 ■Webページアドレス：http://shimonishi-h.vsn21.jp </p> </div> <p>本校は1920年（大正9年）に下関市立下関中学校として創設され、「天下第一関」を精神的な支柱として、3年後には創立百周年を迎える歴史と伝統ある高校であり、卒業生は国内外を問わず各界の第一線で活躍している。</p> <p>生徒は、創立以来受け継がれてきた『自主・自律』の校風のもと、勉学に、部活動に、そして旭陵祭（文化祭）や体育大会などの伝統的な学校行事に、積極的かつ主体的に取り組んでいる。</p> <p>教育目標は、「校是『天下第一関』のもと、高い知性・豊かな情操・強い意志・健やかな身体を育み、円満な人間性と社会性を備えた真に次代を担うにふさわしい人材の育成をめざす」としており、「知・徳・体のバランスのとれた人間形成」をベースに据えつつ「生徒一人ひとりの進路実現」を目標にした教育活動を推進している。</p> <p>教職員については、「3年間を見通した教育活動」を推進するために「全教職員で協働して取り組んでいく体制」の強化を図っている。</p> <p>【本年度本校で重点をおいて取り組んでいる目標】</p> <p>「もう一段高く！～より高い視点で、より高い志で～」</p> <p>① 新学科設置：知識・技能を活用する学習や探究する学習を重視した「探究科」設置に向けた取組。</p> <p>② 学校運営：教職員一人ひとりが学校運営に主体的に参加し、改善・充実を図るとともに、OJT等の推進により、資質能力の向上に努める。</p> <p>③ 学習指導：3年間を見通した継続的・組織的な学習指導により生徒の学力向上を図る。</p> <p>④ 生徒指導：自主・自律の校風を尊重しつつ品位ある生活習慣を確立する。</p> <p>⑤ 進路指導：3年間を見通した継続的・組織的な進路指導により生徒の希望進路の実現を図る。</p>		
学校が求める教職員	公募分野： 学習指導・進路指導		公募人数等
○ 生徒一人ひとりの夢の実現を果たすため、意欲と情熱を持って学習指導に取り組み、学力の向上はもちろん、生徒にとって魅力的な授業を工夫して実践できる教員	○ 組織的な進路指導体制の中で、他の教員と協力し、高い志を育てる進路指導を実践できる教員		若干名 国語、 地理歴史、 数学、理科、 外国語(英語)
○ 進取の気性に富み、「探究科」の特色ある教育活動に積極的に取り組むことができる教員			
論作文題 (A4判1枚程度)	本校における学習指導や進路指導、あるいは探究的な活動の指導にどのように取り組んでいきたいか、これまでの経験を踏まえて具体的に述べてください。		

(別紙様式2)

校 種	学 校 名	校 長 名	所 在 地
特別支援学校	県立山口南総合支援学校	田代 雅昭	山口市鑄銭司2364-6
学校の特色	<p>■生徒数：122人〔幼・小・中・高（普通科・産業情報科・産業科）〕 ■学級数：40学級 ■電話番号：083-986-2007 ■Webページアドレス：http://www.yamaguchi-s.ysn21.jp/</p> <p>本校は、聾学校から総合支援学校に改組され9年が経過し、この間、在籍者数は倍以上となり、障害の多様化も顕著である。現在、幼稚部から高等部まで設置されており、高等部には「普通科」のほか、聴覚障害を対象とする「産業情報科」、軽度の知的障害を対象とする「産業科」が設置された。</p> <p>本校には、聴覚障害について、平成20年度には旧聾学校ということから県内唯一の「聴覚障害教育センター」が設置され、また、平成26年度から始まったエリア型センター3校の中心校として、より高い専門性が求められている。さらに、山口・防府地域の「特別支援教育センター」が置かれ、この地域の相談支援の中心的役割を担っている。平成26年度には、県央部における「視覚障害教育センター」も新設され、本校のセンター的機能の重要性がますます高くなっており、その果たすべき役割は大きい。</p> <p>同時に、教員の障害別の専門性については、知的障害や病弱児童生徒の増加に対する教育の充実を図る一方、聴覚障害については今後も維持・継承・発展させていく必要がある。また、今年度は、幼小小学部に在籍している幼児児童すべてが、聴覚障害を有しており、その指導の専門性の担保、加えて「聴覚障害教育センター」における早期からの乳幼児相談・外部相談等に対応できる専門性の高い教員の確保は、今後とも重要である。さらに、中学部・高等部における聴覚障害教育について、教科指導力の強化や生徒のコミュニケーション力を高めていくことが大切であり、中核となって取り組むことができる教員を求めている。</p> <p>【本年度本校で重点をおいて取り組む目標】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 学習の向上と生活力の定着○ キャリア教育の充実		
学校が求める教職員	公募分野：特別支援教育		公募人数等
	聴覚障害教育において専門性が高い、もしくは、今後継続的に取り組んでいきたいと希望している者で、かつ他の障害特性もよく理解し、幼児・児童・生徒に対する教育に熱意のある、幼稚部・小学部・中学部・高等部いずれかの教員〔特別支援学校教諭免許状を保有していること〕		若干名 教科指定なし
論作文題 (A4判・ 1枚～2枚)	今後、本校が取り組む教育活動において、キーワードとする「三つのわ(和・輪・話)」について、あなたの考えを述べ、本校教育活動の中で、あなたが取り組んでみたいことや活かしたい能力等について、具体的に述べてください。		

校 種	学 校 名	校 長 名	所 在 地
特別支援	県立下関南総合支援学校	大野 浩光	下関市幡生町一丁目 1-22
学校の特徴	<p> ■生徒数：91人〔幼・小・中・高（普通・保健医療）・高専攻科〕 ■学級数：41学級 ■電話番号：083-232-1431 ■Webページアドレス：http://www.s-minami-s.ysn21.jp/ </p>		
<p>本校は、明治38年(1905年)、鍼灸家・今富八郎が設立した「今富盲学館」に始まり、昨年度、創立110周年を迎えた、県内の特別支援学校の中で最も歴史のある学校である。「山口県立盲学校」として長く視覚障害教育を担ってきたが、平成20年度、原則5障害を対象とする総合支援学校として現校名となり、現在に至っている。</p> <p>この9年間で在籍者数は約4倍となり、特別支援学校が対象としている「視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱」の全ての障害種の幼児・児童・生徒が在籍しており、全国でも希有な状況である。また、年齢層も幅広く、今年度、幼稚部3歳から高等部専攻科52歳までが学んでおり、障害の多様化・重度化・重複化は顕著である。一方、県内で唯一設置されている「医療に関する学科」には、あん摩・鍼・灸の国家試験合格を目指している視覚障害のある生徒が在籍しているが、全体に対する視覚障害のある幼児児童生徒の割合（平成28年度24.2%）は低下しつつあり、その専門性の継承は大きな課題である。</p> <p>また、平成20年度に設置された「視覚障害教育センター」では、これまで県内全域における相談支援体制の強化を図ってきたが、平成26年度には「聴覚障害教育センター」が新設され、県西部における相談支援体制の構築をはじめとした聴覚障害教育のセンター機能の充実も図っていく必要がある。</p> <p>学習指導においては、「準ずる教育課程」で教科指導を行う一方、知的障害のある児童生徒が急増しており、「日常生活の指導」「生活単元学習」「作業学習」等の各領域の充実を図り、心身の伸長や生活力の向上について充実させることが急務である。</p> <p>こうした現状から、視覚障害又は聴覚障害における教科指導の充実と、知的障害を中心とした他の障害の実態を踏まえた学校組織の体制整備を図っている。</p> <p>【本年度本校で重点をおいて取り組む目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人ひとりの自立に向けた力を伸ばす授業力の向上 ○ 「つながり」を重視した教育活動の推進 <p>その他、【本校で継続して掲げている目標】が五つある。</p>			
学校が求める教員	公募分野： 特別支援教育		公募人数等
<p>5障害の特性をよく理解し、障害のある幼児・児童・生徒に対する教育に熱意のある教員で、①又は②に該当するもの〔特別支援学校教諭免許状を保有していること〕</p> <p>① 視覚障害教育又は聴覚障害教育に関わった経験があり、幼稚部・小学部・中学部・高等部普通科いずれかの教員</p> <p>② 中学校の技術又は高等学校の音楽、美術のいずれかの免許状を有し、中学部又は高等部での勤務を希望する教員</p>			<p>それぞれ 若干名 ①は教科指定 なし</p>
論作文題 〔A4判〕 〔1枚～2枚〕	<p>あなたのこれまでの教員としての経験や実績をもとに、特別支援学校である本校の教育活動の中で取り組んでみたいこと、活かしたい能力について、具体的に述べてください。</p>		

問い合わせ先

教職員課	人事企画班	TEL	083-933-4550	FAX	083-933-4559
教職員課	人事班	TEL	083-933-4624	FAX	083-933-4559
義務教育課	地域支援・人事班	TEL	083-933-4595	FAX	083-933-4609